

■ 「タカテツのひとり語り」

— “ぼんやり” が “ひらめき” を生む!? —

私が好きなものに宇宙と脳があり、多聞に好きな理由は、どちらも未知のことが多いからです。マクロとミクロの両極端ですが（笑）。

さて、タイトルの “ひらめき” でありますが、眠っているときに閃いたとか、考えても答えが出ない時にある日突然答えが見つかったとかありませんか。私はこの原稿を書く時にいつもウンウン唸っており、神が降りてくるのを待っています。…ハイ、神ダノミです（笑）。



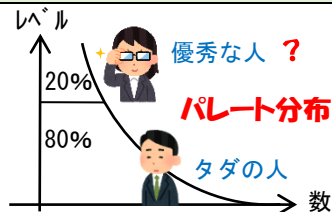
今回、産業雇用センターの「かけはし」という冊子で、奥村歩さんという脳神経外科医の方の “ひらめき” の話を見つけました。「脳」と「コンピュータ」が決定的に違うのは、脳は神経細胞間にほんの “小さな隙間” があり、ここは電気信号が通らないのだそうです。この隙間に神経伝達物質と呼ばれるメッセージ物質が飛び交って情報が伝わるとのこと。これは隣同士だけでなく広範囲に脳に拡散することにより、無数のバリエーションの活動が引き起こされ、これこそコンピュータとは異なる “変革・創造” を生み出す「人間の脳」のユニークさなのだそうで、いわゆる広域ネットワークと言えます。これは “ぼんやり” している時にこそ積極的に活動する領域であり、これをデフォルトモードネットといい、21世紀脳科学の最大の発見の一つだそうです（ワシントン大学レベック教授）。このネットワークこそ人生の司令塔、「記憶の断片」と「希望の断片」をつなぎ明日の夢に向かうためのアイドリング機能なのだとのこと。

“ぼんやり” はボーッとするだけではなく、笑うこと・リズム運動等が有効だそうです、逆にパソコン・スマホの過剰刺激はこれをフリーズさせるのだそうです。

空や星を見ることも有効だそうですから、宇宙にも夢を馳せてみては如何…アッ流れ星が（地球に平和を）。

■ ROKENワークス・アカデミーだより

— 「優秀人材」ほど定着しない —



この度、第7回「哲塾」が終わり、採用の考え方やユニーク採用等の話をしました。要は “待ちの採用” では、中小企業ではダメで、同時に採ったら終わりではザルで水をすくう類の話で、生産性視点では最悪です。

さて、よく「優秀な人材が欲しい」と言いますが、優秀な人材ほど優秀な経営者、企業のところでなくては定着できません。逆に言うと定着する人は優秀な人材でなくなります（笑）。

笑い話ですが、採用判断のコンピテンシーレベルというのがあり、「レベル5」は革新・創造的、「レベル4」は変革的で5%程度と言われ、このレベルは並の会社では無理でしょう…他から見れば奇人・変人ですから（笑）。通常「レベル3」が能動行動をとる人で、これでも少数派であり、多いのは「レベル2」の通常行動、「レベル1」の受動行動の順に多くなります。つまり、人材の「パレート分布」と言われる由縁はここにあります。「できない人」80%の中からでも採用し、「速・戦力化」という育成のシステム・プログラムしか定着の手立てはありません。なぜなら「優秀な人材」も育成なくして「業績」を上げることはできません。

第8回は「生産性と育成」をテーマに行いますが、いかに「優秀な人材」と言えども、最初は仕事の「素人」なのです。“偏差値が高い” からと言って「優秀人材」な訳ではありません…ヒガミ？（笑）。それは、以下の仕事力の公式があり、知識と技術は仕事に関するものであり、「学力」ではありません。

また、「素質」と「行動」が不可欠、“育成なくして、業績なし”の理由でもあり、大きく生産性に関わります。

$$\text{仕事力} = \text{素質} \times (\text{知識} + \text{技術}) \times \text{行動}$$

次回のレジェンド経営者特別講義は、(株)上杉コーポレーションの内藤文徳さんの“内藤筋”を聴講します。

■ ROKEN提供システムズ

— 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

- ・ 電子申請システム（義務化近し）
- ・ 給与計算（明細書電子配信）
- ・ 出退勤指紋（カード）認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

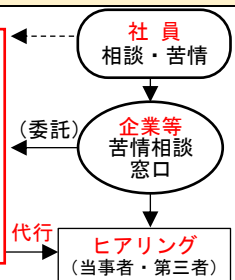
- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ ROKEN ハラスメント
セキュリテイズ

①相談・指導 ②研修

弁護士・社会保険労務士
産業カウンセラー



■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236
E-Mail: center@roken.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069
E-Mail: academy@roken.jp

roken 検索